

**佐世保市議会**  
**平成30年12月定例会 一般質問順序**

質問日	順序	議席 番号	氏名	所属会派	質問方式	質問 時間
12月6日 (木)	1	6	萩原 活	自民党市民会議	【一括方式】	25分
	2	4	永田 秀人	社会民主党	【一括方式】	25分
	3	30	明石 功	公明党	【一括方式】	30分
	4	5	湊 浩二郎	市政クラブ	【一問一答方式 (2回目から)】	25分
12月7日 (金)	5	17	林 健二	緑政クラブ	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	6	23	久池井 一孝	市政クラブ	【一括方式】	25分
	7	8	北野 正徳	緑政クラブ	【一問一答方式 (1回目から)】	30分
	8	10	森田 浩	公明党	【一括方式】	30分
12月10日 (月)	9	2	久保 葉人	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	10	9	永安 健次	緑政クラブ	【一括方式】	30分
	11	15	草津 俊比古	自民党市民会議	【一括方式】	30分
	12	3	久野 秀敏	市民クラブ	【一括方式】	30分
12月11日 (火)	13	13	眞木 朝夫	市政クラブ	【一括方式】	25分
	14	31	山下 隆良	市民クラブ	【一括方式】	30分
	15	22	早稲田 矩子	社会民主党	【一括方式】	20分
	16	14	崎山 信幸	自民党市民会議	【一括方式】	20分

# ○ 萩 原 活 (25分)

【一括方式】

- 1 災害時を想定した防災訓練、避難訓練のあり方について
  - 総合防災訓練のあり方について
  - 避難訓練の取り組みと、防災マップの活用について
  - 災害時における初動活動のあり方、手順書の策定について
  - 高齢者、要介護者の避難訓練と地域ボランティアの活動手順書の策定について
  - 連携中枢都市圏形成を目指す佐世保市の広域災害防災訓練の取り組みについて
  
- 2 地方創生を推進する佐世保市における少子化対策の推進状況について
  - 少子化対策を推進する佐世保市の婚活サポートの現状と実績について
  - 今後の事業展開と問題点について
  - 少子化対策を推進する中、平成30年4月からの妊婦加算について

# ○ 永 田 秀 人 (25分)

【一括方式】

## 1 バス運転士の確保策について

9月定例会において市交通事業の廃止条例が可決されたが、この採決の際に反対の根拠の一つとした運転士不足の問題を危惧している。当面、交通局に所属していた運転士を退職派遣することで必要な人員を確保するということだが、させばバスも頻繁に求人を行っている状況を見ると、現時点で十分な人員が確保できているのか心配になる。3月末日での交通局廃止時点で路線の維持に必要な運転士を確保するめどは立っているのか。また今後の退職見込みを踏まえた採用計画はどうなっているのか。

## 2 総合防災訓練における海上自衛隊LCACの参加について

9月に実施された市の総合防災訓練において、海上自衛隊所属のホバークラフト型揚陸艇（通称LCAC）が参加した。新聞などによると宇久島からの避難者搬送の訓練を行ったようだが、その手順を聞くと大変人手がかかっている。大規模災害が発生した際は、各地で同時並行して避難や救助の必要性が生じられる中で、1カ所に多くの人員・機材を投入しなければならない手法を訓練する意味があるのか疑問がある。むしろ、より少ない人員・機材で対応できる手法を事前に検討し、その訓練をすべきではないか。

### 3 外国人労働者の受け入れ拡大対策について

国は現在、人口減少に伴う労働力不足への対策として外国人技能実習生制度の受け入れ範囲を拡大する方向で進んでいる。しかし現行の制度に多くの問題が指摘されている。国は「問題のあるケースには適切に対応していく」と説明してきたが、こういった労働問題を取り締まる労働基準監督署は人員の増員もままならないと聞く。市は次期総合計画の議論の中で外国人も含む「多様な人材の活躍の場の整備促進」を盛り込む考えを示している。そのような点も踏まえ、よりよい外国人人材が集まる自治体施策を考えていくべきではないか。

# ○ 明 石 功 (30分)

【一括方式】

- 1 「持続可能な開発目標」(SDGs) 未来都市について
  - 2030年の達成を目指し、「持続可能な開発目標」(SDGs)の推進について
  - 「持続可能な開発目標」(SDGs)のわかりやすい佐世保版小冊子の作成について
  
- 2 食品ロス削減について
  - 食品ロス削減に向けての啓発について
  - 学校における食品ロス削減に向けての教育について
  
- 3 海のプラスチックごみの抑制について
  - プラスチックごみ削減の現状と今後の方針について
  - 学校におけるプラスチックごみ削減に対する教育について
  
- 4 障がい者施策について
  - 強制不妊手術問題について
  - 市における障がい者枠での職員の採用について

# ○ 湊 浩 二 郎 ( 2 5 分 )

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 佐世保市における医師不足を解消する対策について

平成26年12月の調査では、二次医療圏別医師数（人口10万人対）が、長崎医療圏の401.9人、県央医療圏の304.1人と比較して、佐世保医療圏では254.9人、県北医療圏においては128.6人となっており長崎医療圏の3割程度で、県内の離島医療圏にも大きく及ばないのが現状です。

この大きな原因の一つに、圏域人口が40万人程度あるにもかかわらず、佐世保県北医療圏には医科大学及び大学病院が存在せず、圏域内に医師を供給するシステムがないことが挙げられます。このことは体系的な医師確保ができない要因の一つとも考えられます。そこで私は、以前から佐世保県北医療圏に医科大学及び大学病院を設置することが、一番の医師確保につながるのではないかと考えております。医科大学の新設が一筋縄ではいかないことは自明の理であるため、既設の医科大学の分校及び大学病院の分院の形で誘致を働きかけるほうが現実的ではないかと思われます。具体的には、東京23区内にある大学の定員増を原則10年間認めないことなどを盛り込んだいわゆる地方大学振興法が、5月25日の参議院本会議で与党などの賛成多数で可決、成立しました。産学官で地域の産業振興に取り組む自治体に対する交付金制度も創設され、進学や就職に伴う若者の東京一極集中是正を目指すもあり、佐世保県北医療圏に医科大学の分校等の設置の実現の可能性が出てきたのではないかと思われます。このことは、本市と近隣の市町が圏域の形成を目指す「西九州させぼ広域都市圏」において担うべきものと思われます、これらを踏まえ、市長のお考えをお尋ねします。

## 2 I R 誘致の状況とその取り組みについて

他の競合地の大阪市、横浜市、東京都、北海道、和歌山県等と対等、または、それ以上の誘致に向けた取り組みが行われているのか、大都市や北海道等に本当に長崎県が太刀打ちできるのかとても心配です。

長崎県と佐世保市が一体となり、取り組みを進められていますが、地域認定へ向けたオール九州の取り組みがまだ見えてきていません。

そこでI R 誘致の現状とその取り組みについて市長のお考えをお尋ねします。

### 3 動物愛護センターのあり方について

中核市には動物愛護センターの設置を義務づけられていますが、本市はその設置場所について、まだ決まりそうにないと聞き及んでいます。そのような現状において、2015年度の長崎県の犬・猫の殺処分数が日本一ということが報道されました。当然佐世保市においても相当数の殺処分が行われています。これに対して広島市や名古屋市等は犬・猫の殺処分数がゼロであると知りました。他県では動物愛護センターなどで殺処分ゼロへの取り組みをしていますが、長崎県や各自治体ではどうなのでしょう。また、殺処分場と愛護センターを分離し、例えば、愛護センターを名切地区再整備地へ設置し、市民と動物との触れ合いの場になれば、子どもたちの情操教育の一環として命の尊さを学ぶことにつながり、殺処分ゼロの実現につながるのではないかと考えますが、市長のお考えをお尋ねします。

### 4 タッチレス救急医療現場映像伝送システム（略称：REMOTES）の導入について

タッチレス救急医療現場映像伝送システムは、NTTドコモと日本医科大学千葉北総病院救命救急センターが共同開発したもので、同センターのドクターヘリに導入されており、フライトドクターがスマートフォンを胸に装着して現場の映像を病院へ伝送、病院スタッフはタブレット上で患者の容体を目で確認でき、無線による口伝えに比してより正確に伝えられ、受け入れ準備が早まることで救命率が上がっています。例えば、交通事故などに遭って大けがをした患者を救うには、いかに速く医師が接触し、状態を安定させながら設備の整った病院へ搬送するかが極めて重要です。“1分1秒”という言葉は、決して大げさではないのです。そこでこのシステムを佐世保市消防局の救急車に乗務している救急救命士に装備させれば、メディカルコントロールがスムーズになり、救命率を高めることができるのではないかと考えます。実際に2015年に本システムを導入された東北地方の都市では2カ月で100件以上救急現場から映像伝送を行い、導入を推進した医師は「映像を通して、患者の様子を現場に居合わせているように把握できる。より多くの命を救えるようになる」と高く評価していると報道されたそうです。

そこで、このシステムの導入についての市長のお考えをお尋ねします。

# ○ 林 健 二 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 国見山風力発電計画に伴う国見山系の諸課題について

現在、全国で風力発電事業を展開する大手事業者が、国見山系の佐賀県伊万里市と佐世保市にある尾根に風力発電事業を計画しており、現在、計画段階の環境配慮の手続が行われていることに、近隣住民や市民団体が大変心配しています。国見山系は佐賀県伊万里市、有田町、長崎県佐世保市と2県、2市1町が位置しており、今後も広域的な連携による環境保全等が必要な地域と考えます。そこで、関連する諸課題について、次の点を伺います。

- 国見山アカガシ原生林について
- 国見山系に関連する県道栗木吉井線及び市道槍巻線・国見山線の管理維持について
- 今回の国見山風力発電計画事業について

## 2 地域コミュニティ推進事業について

市長は今年3月、第2期佐世保市地域コミュニティ推進計画を策定し、地域コミュニティの活性化に向けた各施策を総合的かつ計画的に推進するとのことですが、条例施行に伴い、具体的な取り組みを効果的に展開し、実効性を担保するための行動計画とも明言されています。次の点について伺います。

- 地区公民館のコミュニティセンター化について
- 地区自治協議会の運営体制の充実について
- 市職員の意識改革について
- 補助金の一括交付金制度について



### 3 農地災害復旧事業の受益者負担について

地球温暖化などの異常気象が日常化し、たび重なる台風・豪雨などにより、近年は災害のない年はないと言えます。そのような中でも、農業従事者の方々にとっては、伸び悩む米価とともに、イノシシ被害や少子高齢化の影響を大きく受けながらも、重ねて被災による農地の遊休化が加速的に進んでいる現状があります。これ以上の影響を少しでも回避する手段を検討する必要があり、次の点を伺います。

- 農地災害復旧事業の地元分担金と受益者負担の考え方について
- 受益者負担に伴うさらなる耕作放棄地増大の懸念について

# ○ 久池井 一 孝 (25分)

【一括方式】

## 1 平成31年度予算編成方針について

平成31年4月は市長改選期である。また10月には消費税の引き上げが予定され、幼児教育の無償化等の制度改正も見込まれる。一方、合併算定替の段階的終了に加え、総合計画の重点事業や総合戦略連携中枢都市圏の連携事業、それに大型事業の本格的取り組みが控えており、財政運営はますます厳しくなるものと思われる。

- 消費税の引き上げに伴う歳入予算見込み及び歳出予算要求の方針について
- 従来の各部局予算要求において、基本的事項の一つに「事務事業の点検見直しを行うこと」と定められているが、その成果と予算編成に当たっての取り組みについて
- 予算要求基準のシーリングについては従来の査定方針と同じか。一般財源推計と予算要求額歳出一般財源の見込み、また枠予算の要求と査定の推移について
- 予算要求枠の中の通常枠については、毎年5%のマイナスシーリングが実行されているが、その推移について（平成23年以降）

## 2 JR佐世保線等の輸送改善の取り組みについて

平成4年の「九州新幹線（長崎ルート）等の整備に関する基本的考え方」の中で示された佐世保線等の輸送改善策の一つである「列車の最高速度を130キロメートルとするための整備改良を行う」ことを目指した深度化調査が実施されている。

- 深度化調査方法は適切で市の意向に沿ったものであったか、その評価と今後の取り組みについて
- 調査結果をもとにした第28回幹事会の中で「今年中にレベル感はいろいろあるが、一定何がしかの決定を行う」との意思統一がなされているが、輸送改善全ての項目を含んでのことか。高速化の整備案についてか。

## 3 「地域未来投資促進法」の活用と取り組みについて

従来の製造業に主眼をおいた企業立地促進法が改正され、農林水産業や観光やサービス業、非製造業等地域の特性を活かしながら地域経済を牽引する事業にも配慮した「地域未来投資促進法」が施行され、県と県内全市町で基本計画を策定し、地域経済牽引事業の支援に取り組まれている。

- 「地域未来投資促進法」の評価と、活用戦略について
- 市内事業所等への周知と「地域未来牽引事業所」として選定承認を受けた事業所の状況について

# ○ 北野正徳 (30分)

【一問一答方式 (1回目から)】

## 1 ドローンの利活用と規制について問う

ドローンの活用については、これまでも積極的に活用する旨の答弁がなされているが、その後の取り組み経過を問う。また、ドローンという先端機器の技術革新には、目を見張るものがあるが、十分に活用するために一方で規制することも必要ではないか、などについて問うものである。

## 2 まちづくりの将来像と立地適正化計画について問う

人口減少下のまちづくりの進め方として、立地適正化計画制度が導入されたが、本市における考え方、取り組み状況はどのようになっているかについて問うものである。

○ 森 田 浩

( 3 0 分)

【一括方式】

1 高齢者支援について

- ふるさと納税の返礼品としての「みまもりサービス」導入について
- 終活支援について
- 死亡後に必要な諸手続支援について

2 高齢者の肺炎球菌ワクチンについて

- 平成26年度以降の接種状況について
- 接種対象者への周知方法について
- 将来的な医療費の削減効果について
- 平成31年度以降の対応について

3 バス利用者の利便性向上について

- 公共交通の再編に向けた動向について
- 市民の足としての公共交通への本市の関与について
- バス利用者の利便性向上に向けた本市の取り組みについて

# ○ 久 保 葉 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 児童生徒の学力向上のための施策について

平成29年12月定例会の一般質問で、「全国学力・学習状況調査」に関し、平成33年度までに、小学校、中学校ともに調査教科の全領域において、全国平均を上回り、上位に迫るという目標を表明された。爾後の児童生徒の学力向上のための取り組みと成果について問う。

## 2 佐世保市立児童センターについて

公共施設の再編に関する意見交換会において、佐世保市立の児童センターについては、施設の存廃も視野に入れた検討を行い、機能としての必要性やそのあり方について平成31年度までに決定するとの基本方針が示された。本方針の趣旨を問う。

## 3 高齢者の虐待防止について

高齢化社会の現代において、高齢者への虐待は重大な社会問題の一つであり、高齢者にとっても養護者にとっても不幸な事態に陥ることがないように、行政の支援策が求められている。本市における高齢者の養護者による虐待及び施設虐待の現状と高齢者虐待防止についての施策を問う。

## 4 下水道工事における濁水の処理について

下水道は河川や水路等の水質を浄化することで、快適な生活環境づくりに資するものであり、またその工事の実施に当たっても、当然に環境保全に注意を払い、取り進められるべきである。本市における公共下水道の整備計画、並びに工法によっては生じる濁水の処理について問う。

# ○ 永 安 健 次 (30分)

【一括方式】

## 1 水道事業の現状と今後の方向性について

酷暑の夏となった本年は、夏場の降水量が乏しく渇水状態に陥るなど、水の安定供給が心配されたところでした。幸い、節水の呼びかけや応援給水の対応により、深刻な事態は免れたものの、今なお渇水状態が解除されていない地域もあり、その影響は続いているところです。

そこで、本市水道事業の現状と今後の方向性についてお伺いします。

- 本年の渇水状況とその対応について
- 各地域の水道事業の実情と課題の認識について
- 課題解消に向けた対応策について

## 2 観光振興について

本市は、ハウステンボスや九十九島など主要な観光地の他にもさまざまな顔を持つ観光地が点在しており、観光資源に恵まれた地域であります。現在も観光振興策に積極的に取り組まれているところですが、まだ磨ききれていない観光地も数多くあります。特に点在する観光地へのアクセス方法や魅力紹介など課題もあるところです。

そこで、佐世保市観光の魅力に幅を持たせるための取り組みについてお伺いします。

- 観光客動向の実態について
- 周辺に点在する観光地の魅力づくりと誘客に向けた取り組みについて
- 観光客の二次交通について

### 3 市営工業団地「ウエストテクノ佐世保」周辺の交通環境について

市営工業団地「ウエストテクノ佐世保」への企業誘致も優良企業の進出により、分譲地の完売が整ったところでもあります。その効果は、雇用の場の拡大など高く評価されており、いずれの企業も地元住民と積極的に交流を深めていただくなど、大変喜ばしい状況にあるところです。

一方、以前から課題とされてきた周辺の交通環境は、抜本的な解決に至っておらず、進出企業や地元自治会からもたび重なる要望の声が上がっているのが現状です。

そこで、課題解決に向けた取り組みについての考え方を伺います。

- ウエストテクノ佐世保周辺における交通環境の課題把握について
- 現状の課題解決に向けた取り組みについて
- 産業道路としての重要性和生活道路の安全確保について



# ○ 草津俊比古

(30分)

【一括方式】

1 本市における特別支援教育について

- 本市小中学校、義務教育学校の特別支援教育に係る指導者（教職員）の資質向上及び指導体制の充実について

2 市立学校エアコン設置について

- 事業の進め方、諸課題について
- エアコン設置後の学校運営のあり方について

3 西九州自動車道の4車線化事業について

- 事業化後の現在の事業進捗状況について
- 工事に伴う市民の日常生活への影響と対策について
- 有料化に伴う新たな料金体系について

# ○ 久野 秀 敏

(30分)

【一括方式】

1 九十九島の世界ジオパーク認定推進について

- 九十九島の地質・地形は地質学上どのような特徴があるのか。
- 地質学的歴史や現象など学校教育や社会教育でどのように伝えているのか。
- 九十九島の世界ジオパーク認定に向けて取り組む考えはないか。

2 佐世保港 ウォーターフロント整備について

- 三浦地区みなとまちづくり計画における土地活用の進捗状況について
- 万津地区のにぎわい創出と活性化について

3 消防防災行政について

- 女性参画の現状と課題について
- 救急行政について

4 早岐まちづくりについて

- 早岐川河川改修事業の進捗状況について
- 早岐瀬戸架橋事業延伸工事の進捗状況について

# ○ 眞 木 朝 夫

(25分)

【一括方式】

1 佐世保市における、基地とのかかわりについて

- 共存・共生の考え方について
- 共存・共栄に対する「違和感」について

2 佐世保市における、自衛官募集のあり方について

- これまでの実績及び課題について
- 今後のあり方について

# ○ 山下隆良 (30分)

【一括方式】

## 1 本市の財政状況について

- 本市財政の現状における健全性の評価について

## 2 名切地区再整備について

- 駐車場整備について

名切地区から中心市街地の商店街への連携の視点での駐車場整備が必要となると考えるが、さらに、防災機能等を兼ねた多目的スペースとしての利用等、当局の考え方を問う。

- 公共交通による来訪者対策について

名切地区への公共交通機関によるアクセスの改善が必要であるが、バスの利便性向上を求めるのは、運転士不足もあり、すぐには難しいという現状であることから、定時性に優れた松浦鉄道の新駅設置が有効であると考えているが、当局の考えはいかがか。

## 3 佐世保市における食品ロスや食品廃棄物の現状と取り組みについて

- 食品ロスは深刻な社会問題となっている。国はこの問題の解決のため、省庁の垣根を越え、食品ロスの削減に取り組んでいる。このような取り組みが進んでいる中で、佐世保市における食品ロスの現状や、これまでの取り組み、そして今後の取り組みについて伺う。

# ○ 早稲田 矩子 (20分)

【一括方式】

## 1 カジノを含むIRについて

今年の7月、国会で「特定複合観光施設区域整備法（IR整備法）」が成立した。  
長崎県・佐世保市IR推進協議会のその後の進め方等についてお尋ねする。

- ハウステンボス内に設置しようと考えているIRの形の確認について
- その規模のカジノを含むIRの建設経費、経営経費の考え方について
- 本市で考えている依存症対策について

## 2 水道施設の老朽化対策について

本市の歴史的遺産とも言われるダムของ老朽化が進行していることに対し、その対策をどのように考えているのかお尋ねする。

- 戦前に造られたダムの状況と老朽化による問題点について
- 現在のダムの改修技術の進歩とその応用について
- 石木ダム完成を待って改修に取りかかることの問題について

# ○ 崎 山 信 幸 (20分)

【一括方式】

- 1 水需要の多い食品関係企業に対する誘致並びに現企業への対策について
  - これからの製造業の企業誘致を考えたときに、水需要の多い企業を避けて通れるのか。
  - 同時に地場企業の振興として、現在本市に存在する食品関係企業（水需要が多い）に対する何らかの減免措置は考えられないのか。
  
- 2 市内事業者に対する広告募集について
  - 財政的に厳しい時代が来る中、佐世保市ホームページ・広報させぼ等で行っている広告募集を地域の活性化並びに財源増収の観点から、市が管理する施設においても市内事業者に対し募集を行い、広告事業拡大につなげられないのか。